

令和元年度 測量士試験 午前 問題と解答 No13 (水準測量)

<R01-No13 : 水準測量 : 問題>

視準距離を等しく 45mとして、路線長 1.8 kmの水準点 A, B間の水準測量を実施した。1 測点における 1 視準 1 読定の観測の精度 (標準偏差) が 0.4 mmであるとき、観測により求められる水準点 A, B間の片道の観測高低差の精度 (標準偏差) は幾らか。最も近いものを次の中から選べ。

ただし、1 測点では、後視及び前視の観測を 1 回ずつ、1 視準 1 読定で行ったものとする。

なお、関数の値が必要な場合は、巻末の関数表を使用すること。

1. 1.0 mm
2. 1.3 mm
3. 1.8 mm
4. 2.5 mm
5. 3.6 mm